

第11回九州ろうきん「NPO助成」助成団体一覧

第11回九州ろうきん「NPO助成」各地区助成団体

(応募総数 204団体 助成決定 71団体 助成金額 1,559万円)

【福岡地区】応募総数 31団体

No.	助成団体名	支援内容(目的)	助成金額
1	中間市視覚障害者の会「つばさの会」	視覚障害者も晴眼者と同様に美術作品を楽しみたいという願いを叶える為、富嶽三十六景を触察図にした作品展を行なう。	20万円
2	飯塚市鎮西地区福祉ネットワーク委員会	認知症高齢者の徘徊捜索訓練により、徘徊者捜索の普及・啓発を図る。	13万円
3	特定非営利活動法人 WING福岡	引きこもりの「中間就労施設」をつくり、里山再生と人材育成を行なう。	33万円
4	NPO法人 田主丸町緑の応援団	田主丸中学生徒などを内モンゴル自治区のクブチ砂漠に派遣しポプラの木を植樹する。	10万円
5	NPO法人 アクティブ・ペアレンティング共育サポート	インターネットやゲームの弊害を知り、子どもをネット依存にさせないために大人が関わり方を学ぶことの重要性の提言を行なう。	40万円
6	特定非営利活動法人 九州ダルク	薬物、アルコール依存症者の夜間入所施設(寮)の増設を行なう。	34万円
7	こどもグリーンサポートふくおか	家族等の大切な人との死別を経験した子供達をサポートするボランティアスタッフの養成講座を開催する。	40万円
8	特定非営利活動法人 くるめ出逢いの会	精神障害者や、生きづらさを抱える誰もが利用できるフリースペース「ゆるか」を運営し、利用者が中間と出逢い、繋がる場を提供する。	30万円
9	すこやかライフサポーター	育児期の母親を対象としたアロマトリートメント講座を開催し、こころと身体のケアを行いながら母親同士の交流を行なう。	33万円
10	NPO法人 かんかんむら幼稚園	保育施設幼児および地域の未就園児と農作業を行い、地産地消を肌で感じてもらいながら農業への啓蒙を行なう。	17万円
11	八女の自然に親しむ会	小学校等を対象として野外観察の出前授業を行っており、観察中に出現する動植物の写真や解説を一冊にまとめた野外観察ハンドブックを作成する。	30万円
計	11団体		300万円

【佐賀地区】応募総数 40団体

No.	助成団体名	支援内容(目的)	助成金額
1	佐賀いのちの電話	ボランティア相談員の電話相談活動が24時間365日、充実した環境で行うことが出来るようにする。	30万円
2	子ども体験教室指導者の会	3カ国(日本・中国・韓国)で「環境保全啓発絵画」の交流を始めたが、東日本大震災後は、被災地の子ども達を励ます内容の絵画をカレンダーにして、陸前高田市の小学校に届ける。	20万円
3	特定非営利法人 子どもと文化のネットワーク ぽっぽ・わーど	転勤族の子育てママの交流会を開催し、情報提供や子育てママのネットワーク作り、及び交流誌に掲載し特集号を発行する。	15万円
4	佐賀県生涯学習インストラクターの会 クリエイトさが	福祉施設・地域団体・ボランティア団体等の要請に応じ、生涯学習寸劇による啓発活動や公開講座を行う。	20万円
5	NPO法人 佐賀大学スーパーネット	親しみの少ない農家の生活を体験し、人手不足や放任竹林問題の解決に向け若い労働力を活かす。	8万円
6	伊万里少年少女合唱団	市内外の小学生から高校生が集まり、合唱練習している。また、その成果を地域イベントで披露し、35年続いた合唱団を存続していくため。	10万円
7	NPO法人 循環型たてもの研究塾	人口林の現状と手入れの方法、活用方法を学び、里山地域の担い手となるたくましい人づくり、豊かなまちづくりへつなげる。	30万円
8	唐津港太鼓	破損などで使用していない太鼓を修理する事業を通して、唐津市内の小中学校で和太鼓に慣れ親しむ機会を広く作る活動。	22万円
9	佐賀ミュージック・ケア研究会	発達支援・機能訓練・言語指導・介護予防・子育て支援などの方を対象にミュージック・ケア体験会を開催し、音楽治療法を紹介する。	25万円
10	佐賀天文協会	望遠鏡を修理・部品交換し、「月の引力が見える町」というキャッチコピーを持つ太良町の振興に貢献する活動。	30万円
計	10団体		210万円

第11回九州ろうきん「NPO助成」助成団体一覧

【長崎地区】応募総数 18団体

No.	助成団体名	支援内容(目的)	助成金額
1	長崎県音訳の会	音訳ボランティアの音訳技術をアップさせるため、外部講師を招聘して研修会を開催する。	7万円
2	国見町 点字友の会	視覚障害者の日常生活に、潤いを感じてもらうために、点字のカレンダーや時刻表、メニュー等を作成する。	4.8万円
3	点訳ボランティア 佐世保ありの会	視覚障がい者に必要とされる情報および資料の点訳をおこなうため、パソコン等を増設する。	10万円
4	うんすんカルタ長崎ロバイ	うんすんカルタの復活とポルトガル文化の伝承を通して、街の活性化および世代を超えての交流を図る。	30万円
5	特定非営利活動法人 ちゅーりっぷ会 長崎ダルク	ギャンブル依存症や摂食障害等の依存症の方々を受け入れる施設や、リハビリプログラムの提供など、社会復帰の支援を行う。	30.5万円
6	いづはら手話サークル みんなの手	家庭や地域に手話を普及させ、ろう者の福祉向上につなげるため、手話講座を開催する。	12万円
7	福江少年少女合唱団	子どもたちの健全育成を目的として、各種施設への訪問演奏や、公的・民間団体主催行事での演奏を行う。	30万円
8	長崎親善人形の会「瓊子の会」	長崎原爆祈念式典に合わせて「平和の祈り キッズゲルニカin長崎」を開催し、世界に向けて平和メッセージを発信する。	20万円
9	特定非営利活動法人 日本防災士会 長崎県支部	災害訓練時・災害支援活動での電源確保のための「発電機」の購入	27.7万円
10	NPO法人 長崎人権研究所	部落開放運動に関するカセットテープや写真、新聞記事などをデジタル化し、年代、内容、人物ごとに総合的かつ体系的に整理し、これからの啓発活動などに活用する。	30万円
11	NPO法人 ながさきハンディキャプトサポートセンター	身体的ハンディを持つ方に有効な補助支援機器等を購入し、セミナーの中で実際に体験できるようにする。	7万円
計	11団体		209万円

第11回九州ろうきん「NPO助成」助成団体一覧

【熊本地区】応募総数 26団体

No.	助成団体名	支援内容(目的)	助成金額
1	玉名荒尾の戦争遺跡をつたえるネットワーク	平和の大切さを後世に語り継ぐため、講演会や展示会の開催やリーフレットの発行を行う。	20万円
2	NPO法人 子ども未来研究機構	「熊本アグリ塾体験活動プログラム」開発研究会の開催。熊本市西区池上地区における通年型農業体験活動。	15万円
3	NPO法人 熊本子ども囲碁普及会	熊本県下12の学童保育モデル指定校に、複数の囲碁指導者を週1回派遣し、囲碁教室を開催。日本の伝統文化の礼節を教え、2～3ヶ月の入門期間後、子ども達が自由に対局し、楽しく遊べるように指導する。	15万円
4	倉江川青ノリ生産組合	倉江川流域の活性化対策としてブランド化した「倉江川青ノリ」の生産効率と品質向上を図り、地域の産業振興の活性化を行う。	25万円
5	須子ロード・クリーンボランティア	国道324号沿いの県の植樹帯や空地等に季節の花を植栽し、「花いっぱい運動」による地域の活性化に取り組む。	10万円
6	特定非営利活動法人 くまもと子どもの人権テーブル	子どもの権利条約批准20周年と法人発足25周年を記念し、記念シンポジウムの開催とシンポジウム報告の作成と配布を行うことで、より効果的に条約の周知や啓発を行う。	20万円
7	ESDキッズクラブ	幼児期環境教育の講座を実施できる指導者を養成し、熊本県内の幼稚園、保育所で出張出前講座を実施することにより、更に幼児期の環境教育を実施できる人を増やし、熊本県内の幼児期の環境教育の充実を図る。	20万円
8	NPO法人 成年後見安心サポートネット熊本	判断能力が不十分となった高齢者や障がい者の方々の生活を守り、人権を擁護することを目的に、成年後見無料相談会や成年後見制度説明会等を開催する。	20万円
9	近代化遺産荒尾二造変電所等をいかす市民の会	荒尾の戦争遺跡である「東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所」(火薬コンビナート)を広く市民に知らせ、次世代に語り伝えるために資料等を書籍としてまとめる。	20万円
10	ぐる～ぷ・ゆるり熊本	DV被害を受けた母と子どもの支援プログラム	20万円
11	NPO法人 コロボックル・プロジェクト	自然環境の保全やまちづくりの推進、子どもの健全育成や障がい児・者の福祉の増進に寄与するため、各種調査や研究・活動を行う。	10万円
12	やつしろ茶和の会	今後も活動を継続するため、研修会等を企画し、ボランティア会員の確保と備品の買い替えを行い、迎えたお客様に少しでも気持ちよくくつろいで頂き、まちづくりのお手伝いを行う。	15万円
計	12団体		210万円

第11回九州ろうきん「NPO助成」助成団体一覧

【大分地区】応募総数 19団体

No.	助成団体名	支援内容(目的)	助成金額
1	大分県点訳・音訳の会	点訳・音訳ボランティアを志す方々に、点訳・音訳活動に必要な資器材の購入資金の一部に助成する。	30万円
2	NPO法人 さかのせき・彩彩カフェ	地域住民参加型「フラワーフェスティバル」を中核に希望者に花苗を提供、花期を前にグループ毎にフラワーアレンジメントを学び「ハンギング」を会場にガーデニングする活動。フラワーフェスティバルは2週間。	30万円
3	NPO法人 おおいた子ども支援ネット	自立支援を必要とする児童や行き場のない子どもに対しての「子どもシェルター」開設に向けて、主として施設の改装、修繕ならびに入居児童の生活設備品を購入し、子どもたち(定員6名)が安心して暮らせるための「衣・食・住」環境を整備する。	43万円
4	全日本あすなる腹話術協会 大分県湯けむり支部	年1回実施される腹話術まつりでの発表、日常のボランティア活動での腹話術演技、地域・公民館主催の行事等に参加する。	26万円
5	竹田市レクリエーション協会	「放課後子ども教室」「高齢者のためのレク財講習会」「障がい者施設」での支援「あそびの日キャンペーン」等のレクで使用する音響設備購入費。	21万円
6	大分県立国東高等学校JRC (青少年赤十字)	「食」として、人との繋がりを図るため、地元の食材を使った料理を高齢者や地元料理人に教えていただき、今度は高校生が子ども達に教える。(食文化の伝承)他にも社会福祉協議会ボランティア協議会、東日本大震災復旧支援団体等と連携して、町を元気にする為の幅広い福祉活動を行う。	30万円
7	ピースワーク つくみ	津久見市には、水田がなく米の作り方を知らない子どもが多い為、昔ながらの手植え、稲刈を体験させ米作りの大変さを実感させる。その為の資材他原材料等。	30万円
計	7団体		210万円

【宮崎地区】応募総数 44団体

No.	助成団体名	支援内容(目的)	助成金額
1	西部安全ネット会	高齢者の「孤立化」「孤独死」をなくすための居住訪問活動及び、交流できる場を提供する活動。	10万円
2	夢の国	地域の福祉施設を訪問し、芸能活動を通して、人々と夢を分かち合う活動に必要な音響設備等の購入費用。	8万円
3	暮しの御用聞き	バス遠足等により、高齢者や一人暮らしの方が外出する機会を創出するための支援。	10万円
4	ハッシン	インターネットの利用率が低い宮崎県において、質の高い情報発信の支援を行うことで、利用者を増やし市民間の交流活動を促進する。	6万円
5	特定非営利活動法人 都城メダカの学校	ふるさとの豊かで、美しい自然の保全を願うため、メダカを飼育する施設の建設費用。	20万円
6	特定非営利活動法人 ごんはる	膝・腰に負担が少なく、効果的な全身運動ができる『ノルディックウォーキング』教室の開催。	25万円
7	みんなのおうち(あわあわっこ)	赤ちゃん(生後6ヶ月まで)や母親を定期的に訪問し、子育ての悩みや不安を解消し、子育てが楽しいものになるための応援活動。	17万円
8	特定非営利活動法人 宮崎21高齢者福祉研究会	『お笑い紙風船パレー大会』を県内に普及させることと合わせて、「お笑いサポーター養成講座」を開催し、小学生から大人まで幅広い年齢層との地域交流を目的とする。	30万円
9	NPOお母さん学校プロジェクト	産前・産後の母親を対象に、学びと交流を目的とした「母親学級」を開催。	24万円
10	原爆と戦争・宮崎空襲展を成功させる会	若い世代に、ふるさとの歴史と戦争体験を語り継ぐための、「ふるさとの歴史と戦争体験を語り継ぐ・語り部の名簿」の作成費用。	40万円
11	市民団体 フロム・エム	糖尿病予防に向けた、日常生活のアドバイスをを行うため、即座に血糖値を測定するための機材の購入。	20万円
計	11団体		210万円

第11回九州ろうきん「NPO助成」助成団体一覧

【鹿児島地区】応募総数 26団体

No.	助成団体名	支援内容(目的)	助成金額
1	NPO法人 かがしま遺伝子活用普及協会	「遺伝子検査に関するパネル討論会」を開催し、生命倫理、個人情報保護、遺伝カウンセリングなど諸問題について討論。	10万円
2	モノづくり工房 ～響～	平和と国際協力の推進として、海外で活躍されている方を招聘し講演会を開催。	30万円
3	特定非営利活動法人 NPO北薩倶楽部	鉄道の利用促進を兼ねた肥薩おれんじ鉄道杯・グランドゴルフ大会の開催。	23万円
4	特定非営利活動法人 かがしまミュージックヘルパー協会	心身の不自由な高齢者や障害者、認知症を含む地域の高齢者、また療育の必要な子供連対象の療法的音楽活動の実施。	25万円
5	バリアフリーバスケットボールクラブ(BBC)	バスケットボールを通じて知的障害者の心身の能力向上の支援。	18万円
6	垂水吹奏楽団	垂水市内の4つの金管バンドおよび吹奏楽団による「ニューイヤーコンサート」の開催。	30万円
7	鹿児島県生涯学習インストラクターの会	伝承遊びの道具制作として、身近な自然の材料や道具で制作と遊び方を伝承する。	20万円
8	特定非営利活動法人 ニアあなたの近くに	出会いと交流の場づくりに関する事業。	24万円
9	特定非営利活動法人 スマイルリボン	HTLVウイルスについての情報・講演会のお知らせ・国による対策状況など、会員が必要とする情報源である会報誌を発行する。	30万円
計	9団体		210万円